

## 16. 愛知県立渥美農業高校 発表概要

牛のための環境づくり、和牛の持続可能性など、これまで「牛のため」をテーマに和牛肥育に挑戦してきた。今年、愛知の和牛がいつまでも続くため、みかわ牛の知名度向上を目標とした。

みかわ牛の課題は、県内消費が中心であるための全国的な知名度の低さである。そこで、県内、そして県外に向けても PR できるよう、みかわ牛便りの作成、生産者訪問、全国和牛能力共進会、PR 活動といった 4 つの取組に挑戦した。

また、活動に加え、今年度出品牛もみかわ牛として販売することが重要だ。20 ヶ月齢時の肉質診断では、2 頭共 5 等級が期待できる数値であり、みかわ牛の基準をクリアできると期待された。

「牛のため」の取組は今年度が最終章だが、私達の活動はまだ終わらない。今後は、地域の課題解決に繋がる和牛肥育を目指し、キャベツ生産が盛んな田原市の外葉廃棄という問題解決に取り組む。牛のため、そしてこれからは地域のために私達の和牛肥育はこれからも続く。